



発達障害のある子の 学習を支える ビジョントレーニング

発達障害、特に学習障害(LD)を持つ子どもたちの中には、視覚機能が十分に発揮できず、読み書きに困難を抱えてしまう子どもも少なくありません。そして、視覚機能の向上には、単純な読み書きの反復ではなく、個々の特性やつまずきに合わせた個別の支援・サポートが必要になります。

本作では、放課後等デイサービスや通級指導教室、特別支援学級に携わる方々が、発達障害のある子の学習のつまずきや視覚機能の課題について理解し、実際にビジョントレーニングを行うことで学習が支えられるようになる、具体的な方法・事例について解説しています。また、実際の支援の事例では、学習障害を持つ子どもたちに対する、個々が抱える課題や特性に合わせたトレーニングの様子をご覧いただけます。

この講義の目的

- ・発達障害と学習上のつまずきを理解する
- ・読み書きに必要な視覚機能を理解する
- ・読み能力を支えるためのビジョントレーニングを知る
- ・書き能力を支えるためのビジョントレーニングを知る



解説：増本 利信

九州ルーテル学院大学人文学部心理臨床学科 准教授

商品番号：F55-S(全2巻・分売不可) 11,000円(税込)



個別の学習支援で活かせる『学習につながる』ビジョントレーニング!

F55-1 視覚機能の理解と ビジョントレーニング 1

■ イントロダクション

■ 発達障害と学習上のつまずきを理解する

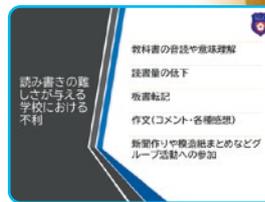
- 認知機能、学業的技能、学力の関係性
- 学習障害の定義
- 発達障害(LD/ADHD/ASD)と学力のつまずき
- 学業的技能の困難さ

■ 読み書きに必要な視覚機能を理解する I

- 「見る」「読む」認知機能についての理解
- ディスレクシア児の視覚機能不全
- 視覚認知低下が要因の学力低下
- 読み書きに必要な視覚機能の理解
 - ① 屈折異常
 - ② 調整と両眼視
 - ③ 眼球運動の問題

■ 読み能力を支えるためのビジョントレーニング

- 支援事例 ①
(間欠性外斜視/衝動性眼球運動の弱さ/輻輳視の弱さ)
- 支援事例 ②
(不器用さ/不同視弱視/眼球運動のぎこちなさ)
- 支援事例 ③
(注意の転動性が高い/衝動性が高い)



F55-2 視覚機能の理解と ビジョントレーニング 2

■ 読み書きに必要な視覚機能を理解する II

- 読み書きに必要な視覚機能の理解
 - ④ 斜位
 - ⑤ 色覚異常
 - ⑥ 視覚的注意スパン
- ビジョントレーニングの実践

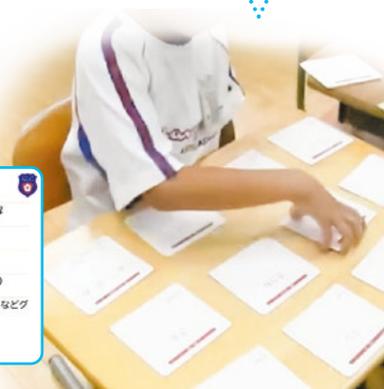
■ 書き能力を支えるためのビジョントレーニング

- 支援事例 ④
(発語の遅さ/姿勢の悪さ/枠内書字の難しさ/筆圧の弱さ)
- 支援事例 ⑤
(板書転記の遅さ/学習定着の弱さ/感情コントロールの困難さ)

■ まとめ

- LDは誰が治療するのか
- Learning Differences

読み・書き能力を支えるための
トレーニングの実際の様子を
ご覧いただけます!



商品詳細・ご注文は通販サイトから… www.japanlaim.co.jp/ サンプルムービー配信中